他の公開

園 JP7119175 (B)

包JP2087879 (C)

DRUG FOR ALLERGIC RHINITIS

発明者:ITO HIROTAKA出版人ITO HIROTAKA

分類: 一国際:

A61K36/48; A61K36/00; A61P27/16; A61P37/08; A61K36/185; A61K36/00; A61P27/00; A61P37/00; (IPC1-7): A61K35/78

一欧州:

出願番号 JP19890160917 19890626 優先権主張番号: JP19890160917 19890626

要約 JP 3027318 (A)

PURPOSE:To obtain a drug for allergic rhinitis containing an extract of Sophorae Radix.

CONSTITUTION:A nasal drop obtained by drying a root of Sophora angustifolia belonging to the family Legumnosae, decocting the resultant Sophorae Radix, freeze-drying the decoction and preparing the freeze-dried substance in the form of a 0.5-5% solution. The obtained nasal drop is dripped to a patient suffering from allergic rhinits. The drug has effects on inhibition of nasal congestion, ptarmus and pituita. The drug is administered 2-3 times a day for 1-4 weeks to relieve and improve the allergic rhinitis.

esp@cenet データベースから供給されたデータ -- Worldwide

⑲ 日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

◎ 公開特許公報(A) 平3-27318

®Int. CI. ⁵

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成3年(1991)2月5日

A 61 K 35/78

ABF ABM 8413-4C 8413-4C

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

69発明の名称

個代 理 人

アレルギー性鼻炎薬

②特 願 平1-160917

②出 願 平1(1989)6月26日

⑫発 明 者 伊 藤

博 隆

克己

愛知県名古屋市天白区塩釜口2丁目905 愛知県名古屋市天白区塩釜口2丁目905

勿出 願 人 伊 藤 博 隆

弁理士 宇高

明細書

1. 発明の名称

アレルギー性鼻炎薬

2. 特許請求の範囲

苦参の抽出物を含むことを特徴とするアレルギー性鼻炎率。

3. 発明の詳細な説明

【産業上の利用分野】

本発明は、アレルギー性鼻炎の治療薬に関する ものである。

【発明の背景】

長野県や中国河北省などで栽培されているマメ科(Leguninosae)のクララ(Sophora angustifolia)の根を乾燥した苦参には、d-マトリン、d-オキシマトリン、d-ソフォラノール、l-アナギリン、l-メチルシチシン、l-バプチホリン、l-ソフォカルピン等のアルカロイドや、キサントフモール、イソキサントフモール、3.4',5-トリヒドロキシ-7-メトキシ-8-イソペンテニルフラボン、8-イソペンテニルケンペロール等のフラボノイド類が含ま

れている。尚、茎と葉にはルテオリン-7-グルコ シドが含まれる。

そして、この苦参には次のような素理作用があると言われている。

1. 利尿作用

苦参の煎剤及び苦参に含まれるマトリンをウサギに投与もしくは注射すれば、利尿作用が現れる。

2. 抗不整 版 作用

総フラボンはクロロホルムの引き起こすマウス 心室細動に対抗し、クロロホルム-アドレナリン によるウサギの不整脈に対抗する。またアコニチ ンによるラットの不整脈に対する治療作用もある。 静脈注射するとラットの心拍数を減らし、大量に 用いると心電図のP-R期を延長する。オキシマ トリンもアドレナリンによる不整脈に有効である。 アルコール抽出物もジギタリス中毒からくるラットの不整脈に対し良好な対抗作用がある。

3. 抗病原体作用

アルコール抽出エキスは in vitroで抗トリコモナス作用をもち、その強度は黄連より弱く、蛇

床子にほぼ等しい。

4. その他の作用

マトリンをウサギに注射すると、中枢神経の麻 痺がみられ、同時に痙攣を起こす。

そして、次のような治療に用いられると言われている。

- 1. 細菌性痢疾の治療
- ① 内服法 50%の濃い煎剤を1回20~30mlずつ、 1日3回服用する。あるいは苦参100gに水400ml を加え200mlになるまで煎じ、1日2回に分けて 服用し、7~10を1クールとする。
- ② 注射法 50%の注射液 2~4 mlを朝晩 1 回ず つ筋肉注射する。
- ③ 灌腸法
- ① へそに貼る方法
 - 2. 急性購胃炎の治療

煎じて1日2回服用する。又はシロップ剤を1回10~15m&ずつ、1日2回服用する。

- 3. 急性伝染性肝炎の治療
- 一般的な肝機能保全の治療のほかに、苦参の粉

苦参の粉末のカプセルもしくは錠剤を服用する。

- 9. トリコモナス膣炎の治療
- 10. 住血吸虫病による腹水の治療

ところで、上記のように各種の治療に苦参が用いられているものの、これまで苦参がアレルギー 性鼻炎の治療に用いられたとの報告はない。

【発明の開示】

本発明者は、苦参を煎じたものを凍結乾燥し、 このものを例えば0.5~5%の溶液にした点鼻剤 をアレルギー性鼻炎の患者の鼻腔に滴下した所、 鼻閉、くしゃみ、鼻汁の抑制に効果があることを 見出すに至った。

すなわち、アレルギー性鼻炎に対して 1 ~ 4 週間の投与により、軽快、改善が認められたのである。鼻閉については即効を呈することもあった。

本発明は上記の知見を基にして達成されたものであり、苦参の抽出物を含むことを特徴とするア レルギー性異炎薬を提供するものである。

尚、このアレルギー性異炎薬は、点異剤タイプ あるいは軟膏剤タイプのような如何なるタイプの 末48をカプセルに詰めるか、あるいは丸剤にして1日4回に分けて服用する。

4. 小児肺炎の治療

200%の苦参注射液2mlを1日2回筋肉注射する。

5. 急性扁桃炎などの治療

50%の苦夢注射液を1回2~3 mlずつ、1日2 回筋肉注射して、急性扁桃炎、急性結膜炎、急性 乳腺炎、歯周炎、外科的感染と腎盂腎炎、急性気 管炎、急性リンパ節炎などの急性炎症性疾病を治 疲した例では、有効率90%以上、治療率74%以上 であった。その他にも、大腸炎、胆嚢炎、膀胱炎 等の炎症に対してもかなりの効果がある。

6. 慢性気管炎の治療

苦梦7、桔硬3の割合で配合し、細かい粉末にし、水を加えて丸剤にする。1日2回服用し、10日を1クールとする。次のクールへ移るときには5日あいだをおく。

- 7. ランブル鞭毛虫症の治療
- 8. 購トリコモナスの治療

ものとしても良い。

【実施例】

苦麥を煎じたものを凍箱乾燥し、このものの1 %の点鼻剤を作成した。

そして、このようにして得られた点異剤を1日に2~3回アレルギー性異炎の患者の異態に一滴滴下し、その治療成績は次の表に示す通りであった。

特開平3-27318 (3)

年齢	性	診断名	主抗原	その他の抗原	鼻汁中 好酸球	皮内反応		抗原特異 1gE 抗体			鼻症状の変 前 2週			他覚所見の変化 前 2週 4;				全般有効度		1	その他副作用
17	ď	アレルギー 性鼻炎	スギ、 カモガ ヤ	ハウス	++	スギ カモ ガヤ	++	スギ カモ ガヤ	RAST 4	(Ls) 鼻汁 鼻閉	++	+	-	下甲介 腫脹 色調 分泌物	++ ===================================	+ 薄赤 +	+ 薄赤 -	有効	有効	有用	なし
38	₽	アレルギー 性鼻炎	スギ	ハウス ダスト	++	H.D. スギ	++	スギ H.D.	RAST 3	(Led) 鼻汁 鼻閉	++	+++	+ +	下甲介 腫脹 色調 分泌物	++ 自 ++	++ 白 +·	+ ====================================	やや有効	有効	有用	なし
39	\$	アレルギー 性鼻炎	ハウス ダスト (H.D.)		++	H.D.	++	H.D.	RAST 2	(Lu) 鼻汁 鼻閉	++	- +	_	下甲介 順服 色調 分泌物	+ 白 ++	+ 薄赤	+ 薄赤	著効	著効	極めて有用	なし
35	Ŧ	アレルギー 性鼻炎	ハウス ダスト (H.D.)		+	H.D.	++	H.D.		(164) 鼻汁 鼻阴	+++++	-	-	下甲介 恒服 色期 分泌物	++ Ġ +	+ 白 -	+ 演赤	春効	著効	極めて	なし
32	- 1	アレルギー 性鼻炎	スギ	カモガヤ	+	スギ	++	スギ		《Lod 鼻汁 鼻閉	++	+	_	下甲介 順服 色調 分泌物	++	+ 薄赤	+ 薄赤 -	著効	著幼	極めて有用	なし